

土地改良事業計画書

1. 目 的

当地区は、三豊市山本町河内の東部に位置し、4.5haの水田をかんがいする主要なため池である。築造後、長年年数を経過し、堤体裏法面の土羽が老朽により崩壊する危険性があるため改良整備が必要である。本事業を早急に実施することにより、堤体決壊被害を未然に防止する。

2. 地域の所在及び現況

(1) 所 在 三豊市山本町河内地内

(2) 地 積 受益面積 4.5 ha 関係戸数 23 戸

(3) 現 況 当地区は三豊市山本町河内の東部に位置し、4.5haの水田をかんがいの主要なため池である。築造後、長年年数を経過し、堤体裏法面の土羽が老朽により崩壊する危険性があるため改良整備が必要である。

3. 一般計画

- ・ 本地区は築造後、長年経過しており、ため池改良が必要な状況にある。未整備の場合は、下流にある農地等に被害を及ぼすことが予想されることから、本ため池(堤体工(腰積ブロック))を整備し、防災に備えるとともに農業用水の安定確保に努める。
- ・ ため池と水田に囲まれた中山間地帯であることから、周辺の自然環境に配慮した施工とする。

4. 主要工事計画

施 工 場 所 : 三豊市山本町河内 996番地1 ため池番号 : 372080217
貯 水 量 : 136,600 m³

- (1) 堤 体 工 延長 96 m 腰積みブロック、水路
- (2) 取 水 施 設 工 - ヲ所
- (3) 洪 水 吐 工 - ヲ所
- (4) 浚 渫 工 V = - m³

5. 付帯工事計画

該当なし

6. 工事の着工及び完了予定期間

着 工 令 和 8 年 9 月 1 日
完 了 令 和 9 年 3 月 31 日

7. 環境との調和への配慮

本地区における環境との調和への配慮は、自然の生態系を保全しつつ、農地の持つ多面的機能や自然環境を維持するよう整備を進める。

8. 本施設の維持管理

本施設の維持管理については、地元水利組合において管理する。

9. 事業費の総額及び内容

(1) 事業に要する費用

区 分	金 額 (千円)	備 考
工 事 費	6,853	
用地買収補償費	-	
測 量 試 験 費	747	
工 事 雑 費	-	
事 務 費	-	
計	7,600	10a当りの事業費 168,889 円

(2) 資金計画

区 分	金 額 (千円)	備 考
補 助 金		
国 補 助 金	-	
県 補 助 金	3,800	
市 補 助 金	2,508	事業費の 33%
小 計	6,308	
地 元 負 担 金		
受 益 者 負 担 金	1,292	
借 入 金	-	農林漁業資金利率 - 償還期間 - 賦課基準 -
小 計	1,292	
計	7,600	

10. 事業効果

区 分	金 額 (千円)	
防 災 効 果	61,606	n : 80 総合耐用年数
作 物 生 産	-	T : 1 事業着手から効果発生年数
年 総 増 加 額 計	61,606	i : 0.04 割引率
廃 用 損 失 額	-	資本還元率 : $i (1+i)^n / (1+i)^n - 1$
		建設利息率 : $0.17 \times 0.4 \times 0.065 \times T$
		農家負担率 : 0.17

※貯水量1m³当り防災効果額は 451 円/m³ × 貯水量 136,600 m³
 妥当投資額 = 年総増加額計 ÷ [資本還元率 × (1+建設利息率)] - 廃用損失額
 = 61,606 ÷ [0.0418 × (1+ 0.0044)] -
 = 1,467,371
 投資効率 = 妥当投資額 ÷ 総事業費 = 1,467,371 ÷ 7,600 = 193
 ※投資効率は基準値は1.00以上とする。

11. 計画図

(1) 位置図

別紙のとおり

(2) 平面図

別紙のとおり

(3) 標準断面図

別紙のとおり

令和8年度 単独県費補助土地改良事業（一般）

新池地区 位置図 S=1:5,000 （ため池） 1箇所



受益面積 A=4.5ha

受益戸数 23 戸

新池

ため池
終点+70.0水路SF300
+49.0
+19.0

S=1 : 1,000

N



[illegible]